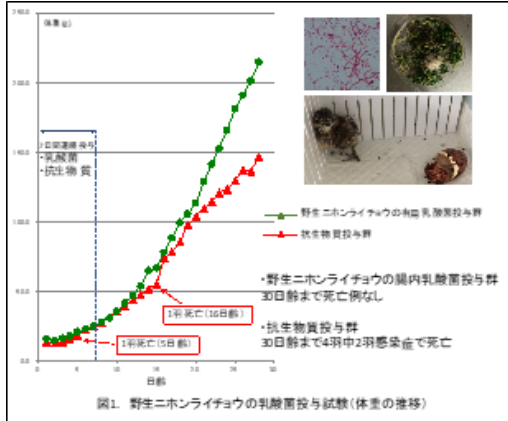


動物の生存環境を改善し QOL を高める、動物用トクホの開発  
希少動物や家畜の保健・福祉・保全に役立つプロバイオティクスの研究

技術分野分類 7601：動物生産科学

技術キーワード 腸内細菌、プロバイオティクス、採食エンリッチメント、乳酸菌

産業分類 A-12：畜産農業

|                   |                         |  |
|-------------------|-------------------------|--|
| 内<br>容            | 概 要                     | 腸内細菌は動物種ごとに異なっており、その動物種に特徴的な「共生腸内細菌」が存在する。特に野生草食動物は、食する野生植物を自身の腸内細菌が持つ酵素によって分解し、時には無毒化することによって栄養としている。我々は、このような野生動物の腸内細菌の持つ有用な性質に着目し、希少動物や家畜の保健・福祉・保全に役立つプロバイオティクスの開発を進めている。 |
|                   | 従来技術・競争技術との比較（優位性）      | 養鶏で使われているプロバイオは人用の転用であるが、野生鳥類に由来する生菌である点に優位性がある。本技術（動物用トクホ）を導入することで、既存の畜産物であっても、薬剤汚染のない、「安心・安全」で動物福祉に配慮した畜産物の生産、希少動物の保護が可能となる。   |
|                   | 本技術の有用性                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護野鳥（ライチョウ）の雛の生存率が向上。</li> <li>・近縁家畜種（鶏）に有用なプロバイオティクス。</li> </ul>  |
| 関連情報<br>（図・表・写真等） |                         |  <p>図1. 野生ニホンライチョウの乳酸菌投与試験（体重の推移）</p>  |
| 適用可能製品            |                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶏卵、鶏肉、その他キジ目家禽（ウズラ・七面鳥）</li> <li>・動物園で飼育されている希少動物</li> </ul>   |
| 技術<br>シーズ<br>保有者  | 氏名<br>所属・役職             | 土田 さやか<br>創発学術院・特任講師   |
| 技術<br>シーズ<br>照会先  | 窓口<br>TEL/FAX<br>e-mail | 中部大学 研究支援センター<br>0568-51-4852（直通）／ 0568-51-4859<br>kensien@office.chubu.ac.jp  |

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2020 年 9月 24 日